花巻市博物館だより

HANAMAKI CITY MUSEUM

No.79

2026.8

花巻市博物館HP

Facebook

Instagram

目次

▶P１特別展「大正イマジュリィの世界」 ▶P２～３テーマ展「つくり、つたえる　花巻の工芸」
▶P４～５特別展「大正イマジュリィの世界」 ▶P６活動レポート「楽しく活動！GW体験講座」
▶P７館長コラム・インフォメーション ▶P８花博コレクション

特別展　大正イマジュリィの世界



竹久夢二《涼しき装ひ》『三越』第15巻第６号（1925年、株式会社三越呉服店）

多彩な大衆文化が隆盛した大正から昭和初期にかけて、日本では印刷技術の革新を背景に出版文化が発展しました。藤島武二（ふじしまたけじ）、橋口五葉（はしぐちごよう）、竹久夢二（たけひさゆめじ）ら当時新しい表現方法を模索していた画家たちも、同時代の美術界の動向と並行しながら、独自の表現を生み出し、人々の心をとらえました。やがて杉浦非水（すぎうらひすい）をはじめとするグラフィックデザイナーが誕生し、モダンデザインに大きな影響を及ぼしました。

本展では、この頃に登場した書籍の装幀や挿画、ポスター、絵はがきなど大衆的な複製図像を、イメージ図像を意味するフランス語「イマジュリィ（imagerie）」と総称して紹介します。

当時の人々を魅了し、日常に美を添えてきたイマジュリィは、現代のデザインやイラストレーションの原点といえます。モダンでユニーク、おしゃれでかわいい、魅力的な大正イマジュリィの世界をお楽しみください。

館長コラム　早池峰神楽 国指定50周年

花巻市大迫町に伝わる早池峰神楽は、今年、国の重要無形民俗文化財指定50周年を迎えた。早池峰神楽は、岳神楽と大償神楽の二つの神楽座の総称で、早池峰山を修験道場とした山伏たちによって受け継がれてきたとされる。

両神楽の起源は定かではない。しかし、両神楽に残された獅子頭や神楽伝授書などから、少なくとも400～500年前には存在していたことがわかる。また、「能」が大成する以前の古い民間芸能の要素が残る貴重な神楽として、1976年に国指定となり、さらに2009年にはユネスコ無形文化遺産にも登録された。

こうしてみると、両神楽は順調に受け継がれてきたように思える。しかし、その歴史の中で少なくとも明治以降は、三度にわたる大きな伝承の危機があった。一度目は明治政府による神仏分離令である。修験道の衰退に伴い、岳地区にあった岳妙泉寺が廃寺となった。二度目は明治以降に続いた戦争で、神楽衆も招集されて舞手不足に陥った。三度目は高度経済成長期の若者の都市流出である。それでも、神楽が今日まで受け継がれてきたのは、神楽衆の並々ならぬ努力によるものだけではない。地域の人びとが、霊山からやってくる神楽に霊験や御利益を見いだし、神楽もまたその期待に応え続けてきた。そうした長年にわたる信頼関係が、伝承を支える大きな力になったのではないだろうか。

近年、両神楽は新たな節目を迎えている。現在、神楽衆の若手の多くが大迫町外に居住しているのである。これを四度目の危機と呼ぶべきかどうかはわからない。しかし、変化の中で伝統を受け継ぐという点では、これまでの危機と同様の課題を抱えているともいえる。思い出されるのは、1982年公開のドキュメンタリー映画「早池峰の賦」の中で、当時の岳神楽保存会長が語った「俺の代で（神楽が）なくなったとだけは言われたくね」という言葉である。その思いは、今の神楽衆にも受け継がれているに違いない。私はそうした人々の強い意志と伝統の力が支えとなり、これからも時代や暮らしの変化を乗り越えながら、新たな継承の形が築かれて行くものと信じている。

令和8年8月～11月の行事予定

【講　座】

◆学芸員講座－2
「花巻の工芸－現代へ続くわざをたずねて－」
日　　時：8月23日㈰　10:00～11:30
定　　員：先着20名　※要申込
申込期間：7月23日㈭～8月22日㈯
学芸員講座-2

◆館長講座－2　【バスツアー企画】
「－合併20周年－
まだまだ知らない花巻の文化財を歩く」
日　　時：10月15日㈭　9:30～16:00
定　　員：先着20名　※要申込
申込期間：9月15日㈫～9月30日㈬
※費用や内容についてはHPでお知らせします。
館長講座-2

【ワークショップ】

◆鍛冶丁焼つくり
日　　時：10月25日㈰　13:30～15:00
定　　員：先着15名　※要申込
材 料 費：1,500円
申込期間：9月25日㈮～10月24日㈯
鍛冶丁焼つくり

※ワークショップ、講座ともに参加申込みは、申込み期間中にオンラインまたはお電話にてお申込みください。なお、受付は定員に達し次第終了いたします。
※各ワークショップ・講座の会場はいずれも花巻市博物館講座・体験学習室です。

【市史編さん室からのお願い】　花巻に関する古い資料はありませんか？

●探している資料
和紙に墨で書かれた古い文書や図面／商店街のチラシやポスター／そのほか本市の歴史が分かる資料
●連絡方法
オンラインまたはお電話にてご連絡ください。
※ご連絡を受けた後、資料保管場所へ職員が伺い、撮影をさせていただきます。必要に応じて資料をお借りする場合もございます。
情報提供

花巻市博物館

〒025-0014 岩手県花巻市高松第26地割8番地1
電　　話：0198-32-1030　FAX：0198-32-1050
開館時間：午前9時から午後4時30分まで
休 館 日：月曜日(祝日・振替休日の場合その翌日)
12月28日から1月3日まで

入館料		
	小学生・中学生	150(100)円
	高校生・学生	250(200)円
	一般	350(300)円

※(　) 内は20名以上の団体割引料金です。
※割安な近隣4館共通券もあります。
※特別展示を行う場合、別に入館料を定める場合があります。

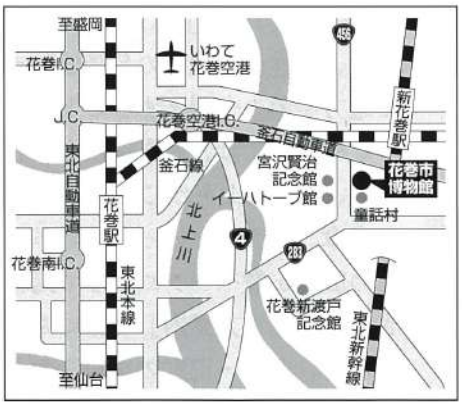
URL:https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/bunka/1019887/1008981/index.html

交通案内

◆バス
新花巻駅→賢治記念館口
〈コミュニティバス　土沢線〉
シーナシーナ花巻前行…約5分
花巻駅→賢治記念館口
〈コミュニティバス　土沢線〉
道の駅とうわ行…約20分

◆車
花巻空港ＩＣより…約10分

◆徒歩
新花巻駅より…約25分



【休館のお知らせ】資料整理のため、11月24日から12月4日までの11日間休館します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど何卒よろしくお願いいたします。